

COMPANY PROFILE 2004

2004年の関西電力



ごあいさつ

2000年3月に電力小売の部分自由化がスタートして以来、自由化の範囲は段階的に拡大してきております。

その結果、お客さまが暮らしやビジネスの質を高めるために、様々なエネルギーを選択することが可能となりました。

一方、お客さまが、それぞれのニーズに応じたエネルギーを選択されるためには、エネルギー全般にわたる幅広い知識や専門的な技術を持ったパートナーが欠かせません。

私ども関西電力は、ライフラインである電気を長年にわたってお客さまにお届けしてまいりました。その中で培ってきた経験と技術力を活かして、お客さまが暮らしやビジネスの質を高めていくための多様なニーズに的確にお応えできる、信頼されるパートナーを目指していきたくと考えております。

もとより、私どもが最も大切にしてきたものは、みなさまからの信頼であります。先般の美浜発電所3号機事故を厳粛に受けとめ、あらためて地域や社会のみなさまから信頼を寄せていただけるよう、社員一人ひとりが最善を尽くしてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



取締役会長
秋山 喜久

取締役社長
藤 洋作

目次

ごあいさつ	1
安定供給	6
原子力発電	8
火力・水力発電	10
送電・配電	11
ビジネスソリューション	14
暮らしのソリューション	18
地域共生	24
環境保全	26
研究開発	28
海外事業	30
会社データ	32
グループ会社	36
歴史	37



変わらぬ使命。それは、ライフラインである電気を
安全に安定してお届けすること。
みなさまからの信頼を大切に、
社員一人ひとりが全力で取り組んでまいります。





今や、毎日の生活にひとときも欠かせない電気。

ライフラインである電気をお客さまにいつでも

安心してお使いいただきたい。

社員一人ひとりが、この思いを強く胸に刻み、

発電所からお客さまに電気をお届けするまで、

不断の努力を積み重ねてまいります。

関西電力は、電気を安全に安定してお届けすることに、

日夜全力で取り組んでまいります

日夜絶え間ない努力で
ライフラインを守り続けます。

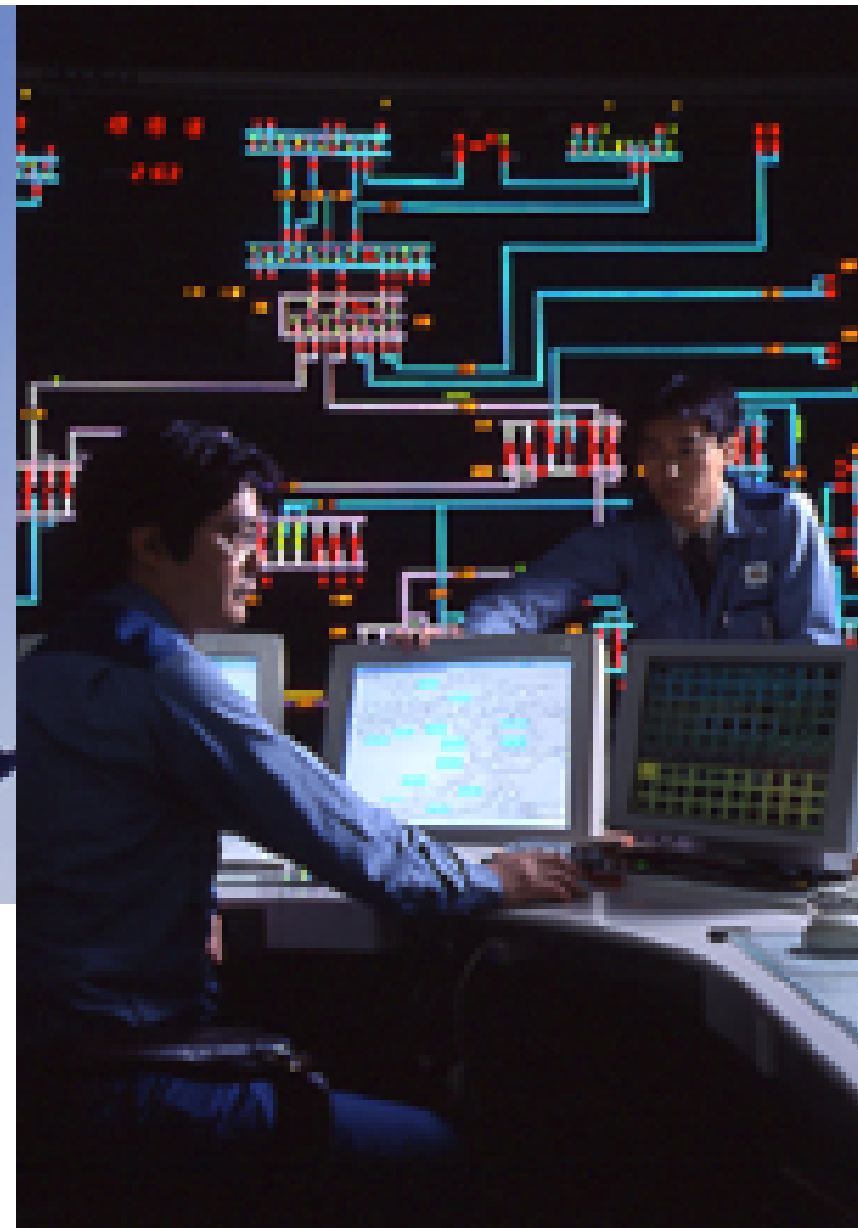


安定供給

発電から販売までの一貫した事業体制で、電気を安定してお届けしています。

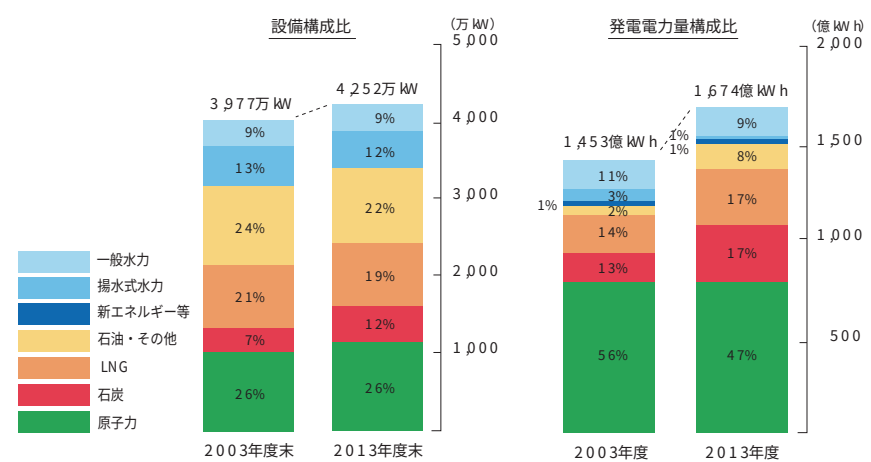


発電から販売までの一貫した事業体制で、電気の安定供給を実現し、同時に原子力発電・火力発電・水力発電の優れた特長をバランスよく組み合わせることにより、高品質な電気を効率よくお届けしています。



中央給電指令所

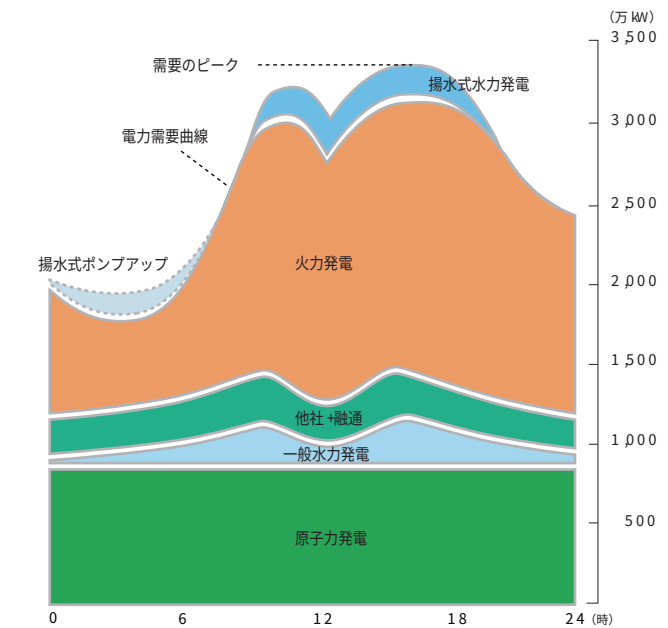
電源構成比率



(注) 年度末設備、発電電力量には他社受電分も含む

夏の一日の電力需要の変化と電源構成

原子力発電をベースに、ピーク時には火力発電と揚水発電が応援します。



発電から販売までの一貫した事業体制

関西電力は、お客さまに電気を安定してお届けするために、発電から販売までの一貫した事業体制で、電源の「ベストミックス」の推進、高品質かつ効率的な電力流通システムの構築に努めています。

電源の最適な組み合わせ、「ベストミックス」

原子力発電、火力発電、水力発電。それぞれの発電方法について、燃料調達の安定性、環境への影響、経済性、電力需要の変化への対応力などの特性を検討し、そのもっとも優れた特長を組み合わせ、最適な電源構成を実現するのが「ベストミックス」です。関西電力では、原子力発電をベースとして各発電を組み合わせ「ベストミックス」を推進することにより、効率よく安定的に電気をお届けするだけでなく、1 kWhあたりのCO₂排出量を国内電力会社で最も低いレベルに抑えています。

着実に増加する電力需要への対応

21世紀の日本は、高齢化社会、情報化社会の進展により、家庭からビジネスシーンに至るまで、多彩な電化製品や情報機器のさらなる普及が予想され、それに伴って、電力需要も着実に増加するものと考えられます。関西電力は、将来にわたって、電気を安定してお届けすることに邁進してまいります。

原子力発電

ベストミックスのベースを担うのが、原子力発電の役割です。

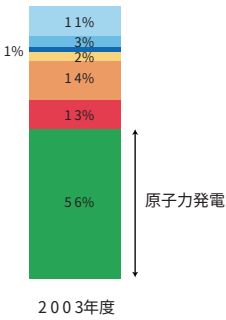


大飯発電所

環境への負荷が少なく、電気の安定供給を支える原子力発電。徹底した安全管理のもと、貴重なエネルギー資源の有効活用を図ってまいります。



高浜発電所中央制御室

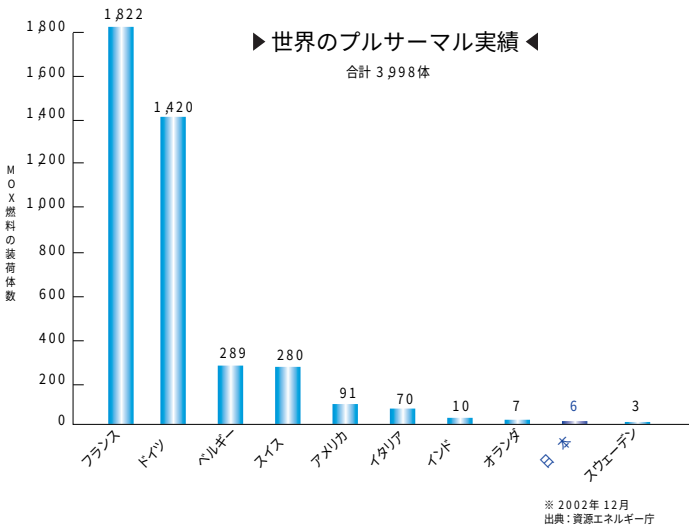
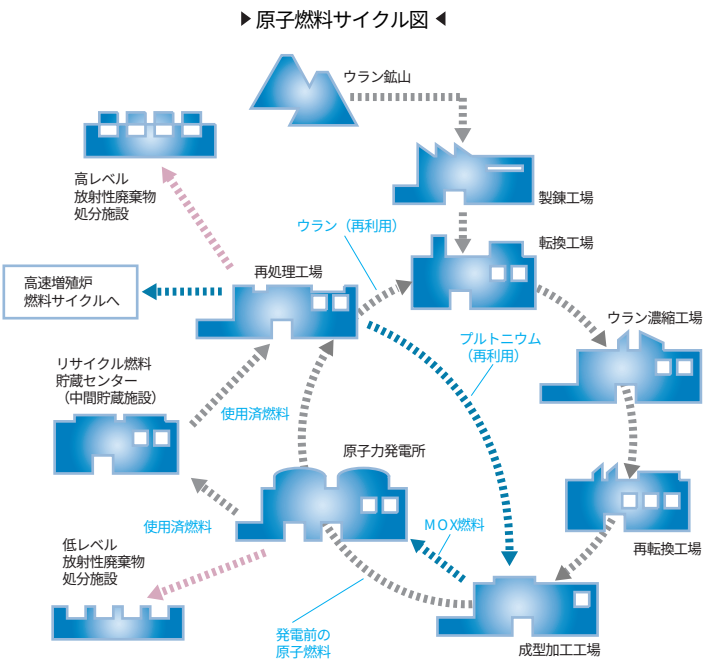


環境への負荷が少なく安定した原子力発電

関西電力は、長期的に電気を安定してお届けするために最適な電源構成「ベストミックス」を推進しています。この「ベストミックス」のベース電源となる原子力発電は、発電電力量全体の56%を占めています。エネルギー源であるウランの供給も安定し、使用済み燃料をリサイクルすればウラン資源の利用可能年数を数倍から数十倍にすることが可能です。原子力発電は、発電時にCO2の発生もなく、地球温暖化の抑制にも効果的な優れたエネルギーです。



燃料取替作業



貴重な資源の有効活用と徹底した安全対策の実施

関西電力は、原子力発電の使用済み燃料の再処理によって回収したプルトニウムを、ウランと混ぜ合わせてMOX燃料（混合酸化物燃料）として利用する「プルサーマル計画」に取り組んでいます。これにより、ウラン資源およびプルトニウムの有効活用を図っていきます。

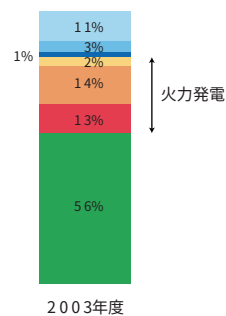
地域や社会のみならず信頼していただけるよう、あらゆる面で厳重な安全対策を実施してまいります。

火力発電 水力発電

変動する電力需要への柔軟な対応力が、火力発電の特長です。

多様な燃料をバランスよく利用する火力発電

刻々と変化する電力需要に対して、優れた柔軟性を発揮する火力発電は、ミドル電源として大きな役割を果たしています。火力発電による発電電力量は全体の29%。関西電力は、比較的価格の安定した石炭やクリーンなLNG（液化天然ガス）などを燃料とする火力発電所の導入により燃料の多様化を図っています。



舞鶴発電所

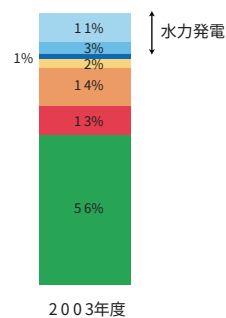


黒部川第四発電所



国内の天然資源を有効活用する水力発電

水力発電による発電電力量は全体の14%ですが、国内の天然資源を有効に活用する重要な電源です。さらに、電力需要が少なく供給に余裕のある夜間に、下部調整池から上部調整池にポンプ揚水し、昼間に発電する揚水式水力発電も、ピーク時・緊急時の電源として大きな役割を担っています。



自然の力を有効に活用するのが、水力発電の特長です。

送電 配電

安定した電気の流通に向けて、日夜努力を重ねます。

安定した電力流通システムを実現

発電所で作った電気を、お客さまのお手元まで、安定してお届けするのが、電力流通（送電・変電・配電）システムです。

地域にはりめぐらせた電力流通システムを24時間365日監視し、コントロールするために、高度なIT技術を用いた監視システム・自動化システムを採用し、さらに台風などの災害に備えた周知な訓練を実施しています。その結果、お客さま1軒あたりの停電時間や停電回数も大幅に低減され、世界的にもトップクラスの品質を達成しています。

播磨西線



新生駒変電所





電気を安定してお届けする。

そして、暮らしやビジネスの様々なニーズにお応えする
信頼される身近なパートナーとして、お客さまにご満足いただけるような
多彩なサービスをお届けしていきたい。

そんな思いを込めて、関西電力は工場やオフィスビルでの
エネルギーの上手な使い方をはじめ、
お客さまのライフステージやライフスタイルに応じた暮らしづくりのご提案に、
グループの総力を結集して取り組んでまいります。

関西電力は、エネルギーを中心に、
活躍の場を広げ続けてまいります。

エネルギーから多彩な領域へ、
新たな可能性をひらく。



ビジネスソリューション

多様なビジネスニーズに、
最適なソリューションを提供します。



エネルギー診断

お客さまのニーズにお応えできる

信頼される身近なパートナーを目指して

ビジネスのお客さまは、業種や規模が異なるため、エネルギーのご利用形態も多種多様で、お客さまの数だけ解決すべき課題があります。電気の上手な使い方やコスト低減や職場環境を改善できないか、エネルギーの賢い選択でコスト低減やCO₂排出量を削減できないか、など、お客さまは様々なニーズをお持ちです。

関西電力はエネルギーのプロとして、長年の経験によって得た知識や技術力を最大限に発揮し、お客さまの課題や幅広いビジネスニーズにお応えできる、信頼される身近なパートナーでありたいと考えています。

お客さまに合わせたきめ細かな料金メニューの開発

大規模な工場から小規模な商店に至るまで、お客さまによって電気のご利用形態は異なります。関西電力では、お客さまのニーズにお応えできる料金メニューの開発を進めてきました。今後もますます多様化・高度化するエネルギーの利用形態を踏まえ、よりきめ細かな料金メニューを積極的に開発・拡充し、様々なご要望にお応えしてまいります。



エコ・アイス（蓄熱式空調システム）

ビジネスソリューション

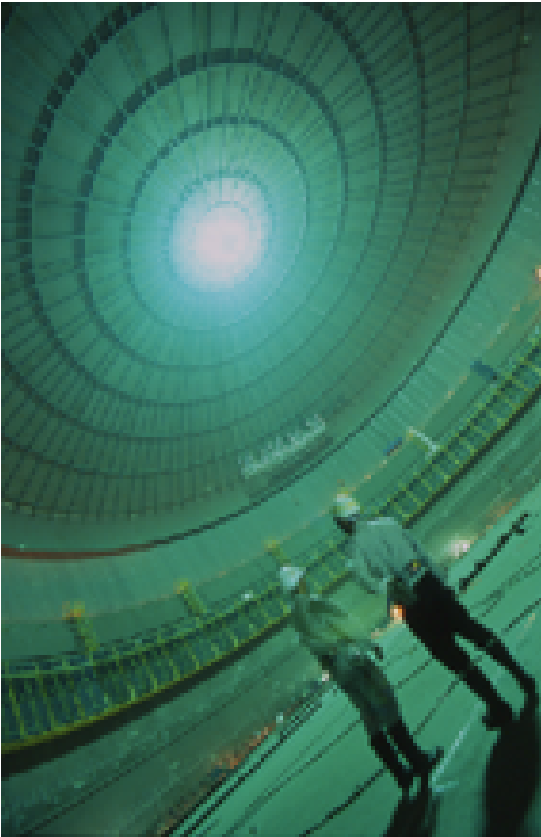
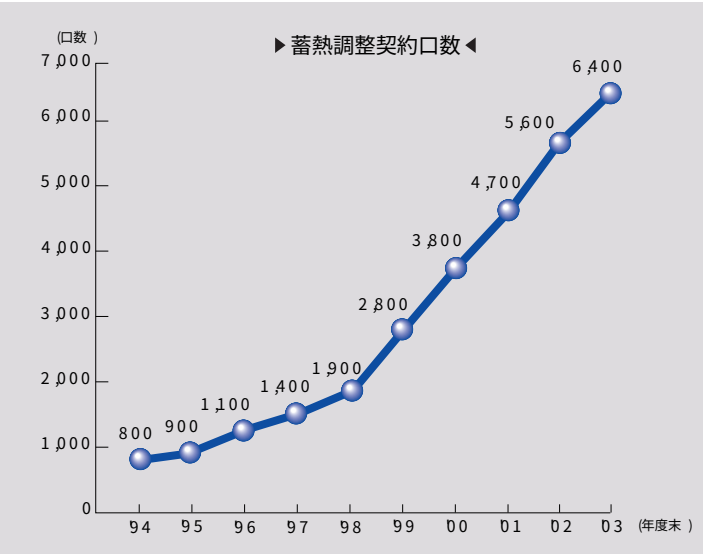
高付加価値ソリューション・サービスの提供

安い夜の電気を上手に利用するエコ・アイス（蓄熱式空調システム）はコストの低減、また、快適で制御が容易な業務用の電化厨房は厨房の職場環境改善、など、関西電力ではお客さまの悩みを解決できる様々な設備・機器をご提案しています。さらに、設備・機器のご提案だけでなく、初期投資ゼロのリース制度もご用意し、それぞれのお客さまのニーズに応じたテーラーメイドのソリューションを通じて、電気の上手な使い方のお手伝いをしております。

もっと上手なエネルギーの選択でコスト低減ができないか、もっと環境に配慮したエネルギーの選択でCO2排出量を低減できないか、など、ビジネスのお客さまのニーズはますます高度化しています。関西電力では、グループ会社と一体となって、ガス供給やコージェネレーションシステムを含めたエネルギーのコスト面での最適な組み合わせをご提案しています。また、国内の電力会社でも1 kWhあたりのCO2排出量が最も低いレベルの電気をお届けしています。この様に、コスト面や環境面でのお客さまのニーズに対応し、賢いエネルギーの選択をサポートしています。

さらに、ビジネスの世界では、いまや超高速・大容量で安定した情報通信インフラが欠かせません。関西電力グループでは、インターネット接続サービスや専用線サービスのご提供により、医療画像の遠隔配信や光ファイバーを用いたCATV放送事業など、お客さまの様々なビジネスをサポートしています。このほかにも、人材派遣サービスや料金の収納代行決済サービス、社員食堂の受託運営など、ビジネスに役立つ多彩なサービスを展開しています。

関西電力はグループ会社と一体となって、お客さまのビジネスニーズや課題を踏まえ、ビジネスのパートナーとして、より付加価値の高いソリューション・サービスをご提供してまいります。



ガス事業（堺 LNG（株））



エコ・アイス（蓄熱式空調システム）



ケーブルTV事業（（株）ケイ・キャット）



健康管理支援事業
（（株）関西メディカルネット）



給食事業
（（株）エル・スエヒロ フードサービス）



業務用電化厨房

暮らしのソリューション

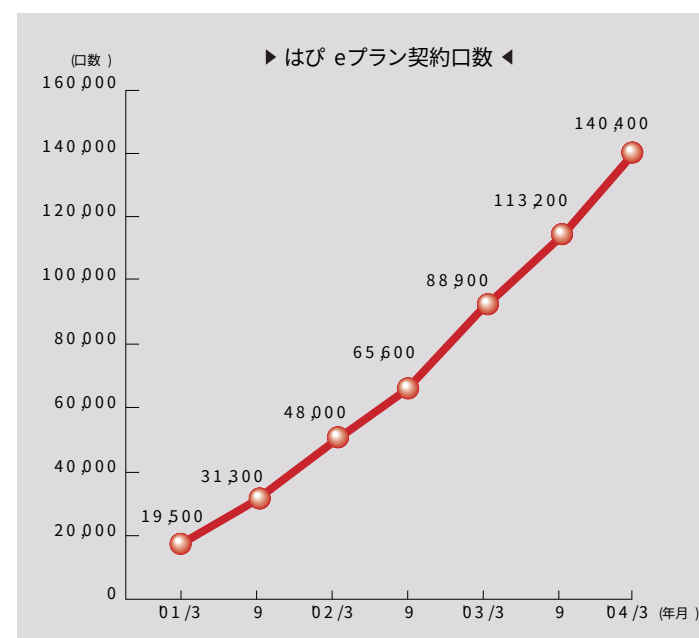
安心して快適な暮らしづくりをお手伝いします。

オール電化で“はぴeライフ”を実現

火を使わないから安心、掃除が簡単でキッチンがいつも清潔、空気がきれいでリビングが快適、いつでもすぐに温かいお湯を使えるから便利、寝苦しい夏の夜も気にせずエアコンが使えるからちょっと贅沢、など、それぞれのお客さまが、オール電化の暮らし“はぴeライフ”に感じる魅力は様々です。

その魅力を支えるのが、キッチン環境を快適にする Hクッキングヒーター、環境にやさしい省エネ給湯機エコキュート、リビングに家族が集う床暖房。さらにオール電化に適用される割引料金メニュー「はぴeプラン」などです。

こうした魅力あふれる、“はぴeライフ”をお客さまにとってもっと身近なものにしたい。そんな思いで、関西電力では、初期費用がかからないオール電化機器のリース制度「はぴeパッケージ」をご用意し、より多くのお客さまの“はぴeライフ”実現を応援しています。



電気床暖房



エコキュート（給湯）



Hクッキングヒーター



電気オーブン



食器洗い乾燥機

暮らしのソリューション

くらし・もっと・はぴe

“はぴeライフ”をもっと“はぴe”に。

お客さまの“はぴeライフ”を、もっと“はぴe”にしたい。そんな思いを込めて、お客さまのライフステージやライフスタイルに応じた暮らしづくりをご提案しています。

シニア世代の暮らしをFTTH 家庭向け光ファイバー であって“はぴe”に。TV電話でお孫さんとのコミュニケーションを楽しんだり、eラーニング NOVA 『お茶の間留学』 など を利用して生涯学習プログラムを受講したり。いつまでも元気で好奇心あふれる暮らしをお届けします。また、ホームセキュリティで、シニア世代のご夫婦の暮らしが安心でゆとりあるものになります。

子育てファミリーの暮らしもFTTHでもって“はぴe”に。光CATVでいつでも好きな映画やスポーツを家族みんなで楽しんだり、外国語をお茶の間で学習したり。ご家族のライフスタイルに応じた、いきいきとした笑顔あふれる暮らしをお届けします。また、ホームセキュリティで、ご家族揃ってのお出かけが安心で一層楽しいものになります。

関西電力はグループ会社と一体となって、お客さまのライフステージやライフスタイルに応じた、もっと“はぴe”な暮らしづくりをお手伝いしています。

もっと“はぴe”な住まいづくり

お住まいは一生に一度の大きな買い物。建ててから後悔したり、あわてたりしないように、安全で快適なことはもちろん、家族構成の変化や高齢化など、将来のライフステージの変化も見据えた住まいづくりが大切です。また、キッチンやバスルームを安全設計にしたり、バスルームをバリアフリー仕様にしたり。ライフステージの変化に合わせてたのびのびとしたリフォームで、生活空間がもっと素敵にグレードアップします。

関西電力はグループ会社と一体となり、お住まいの新築、建替え、リフォーム時における、お客さまの“はぴe”な住まいづくりをお手伝いしています。

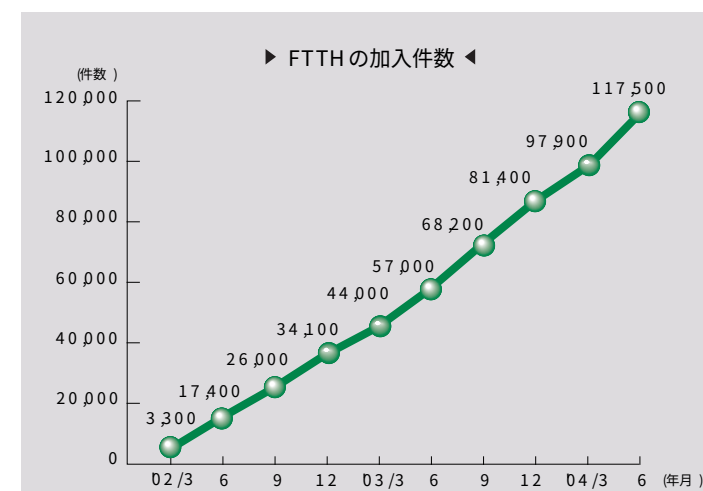
インターネット（株）ケイ・オプティコム）



インターネット（株）ケイ・オプティコム）



ホームセキュリティ（株）関電SOS）



インターネット（NOVA『お茶の間留学』）

電化リフォーム（かんてんEハウス 株）





より良い未来のため、
これからもみなさまと共に歩んでいきたい。
そんな思いで、関西電力は、次世代層教育やボランティア活動の
支援などを行っています。
また、長年にわたり環境と関わってきた
経験を活かして地球環境問題へ積極的に取り組むとともに、
次世代エネルギー供給技術などの研究開発や海外での技術協力を行うなど、
新しい時代を視野に入れた取り組みを続けています。
関西電力は、みなさまと共により良い未来を築いてまいります。

未来に向かって、社会と共に。



地域共生

地域社会と共に生き、共に喜びを分かち合っています。



出前教室



エネルギーに関わる体験学習や見学、そしてスポーツ・文化支援など、地域の方々とのふれあいを通じて、地域社会の発展に貢献したいと考えています。



エル・マール まいづる（舞鶴発電所PR館）の全景と館内のプラネタリウム



様々な活動を通じて地域と交流

科学や電気への関心を深めてもらうために地域の学校を訪問して「出前教室」を行うなど、関西電力は地域社会のみなさまとの対話を深めています。さらにコンサート、美術展などの文化支援や、アメリカンフットボールなどのスポーツ支援を行い、地域とともに歩む企業としての様々な活動を展開しています。

地域における環境への身近な取り組みをサポート

「環境の世紀」といわれる21世紀。関西電力は地域のみなさまと一緒にこの問題に取り組んでいます。「みんなのエコフレンドリー活動」もその一つ。植樹や地域美化活動など関西電力の各事業所においても地域のみなさまと連携しながら、様々な環境貢献活動を推進しています。

エネルギーのことが楽しく学べる充実のPR館

もっと身近にエネルギーのことを知っていただくとともに地域社会とのコミュニケーションを図りたい。そんな思いで、関西電力は、大阪や神戸、若狭地域などの21ヶ所に「PR館」を設け、多くの方々にご利用いただいています。PR館では、発電のしくみが見られる展示物や、エネルギーについて体験的に学習できるコーナーなど、楽しく学べる工夫を随所に施しています。



植樹活動



環境保全

地球環境を考え、様々な研究・支援活動に取り組んでいます。



南港発電所（ISO14001外部認証を取得）



当社がお届けする電力が「エコリーフ環境ラベル」を電力会社で初めて取得しました。これは、製品に関する定量的な環境負荷データについて第三者による認証を受け、開示するものです。

CO₂の排出量の削減による地球温暖化の抑制や、循環型社会を実現するための様々な取り組みを通じて、地球環境の保全に取り組んでいます。



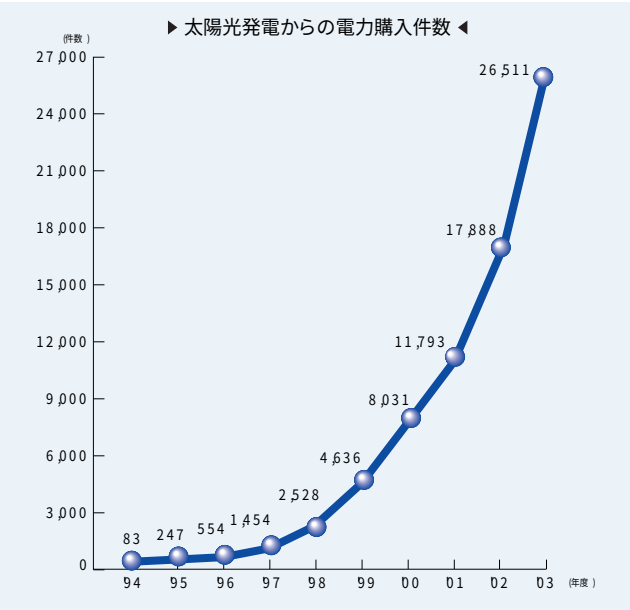
汚染土壌の浄化（関電ジオレ（株））



マングローブに関する研究



「関西グリーン電力基金」の助成による太鼓山風力発電所（事業主体・京都府）



太陽光発電パネル（南港発電所）

地球温暖化防止のために多彩な活動を展開

地球温暖化問題に対応するため、関西電力は、CO₂排出量の削減に積極的に取り組んでいます。発電時にCO₂を排出しない原子力発電の推進、火力発電の熱効率向上、排煙脱炭技術の開発、さらには、原子力発電の比率が高い夜間の電気を利用した高効率電気利用機器・システムの開発・普及など、さまざまな取り組みを実施しています。また、タイでのマングローブ植林技術の研究など、海外でも多彩な活動を展開しています。

「エコリーフ環境ラベル」の認証を取得

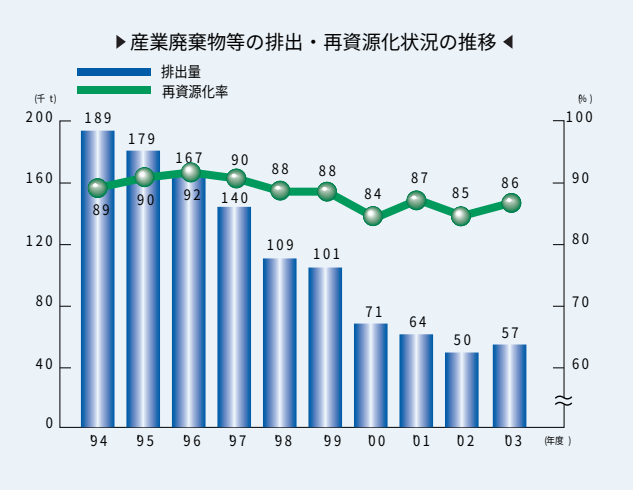
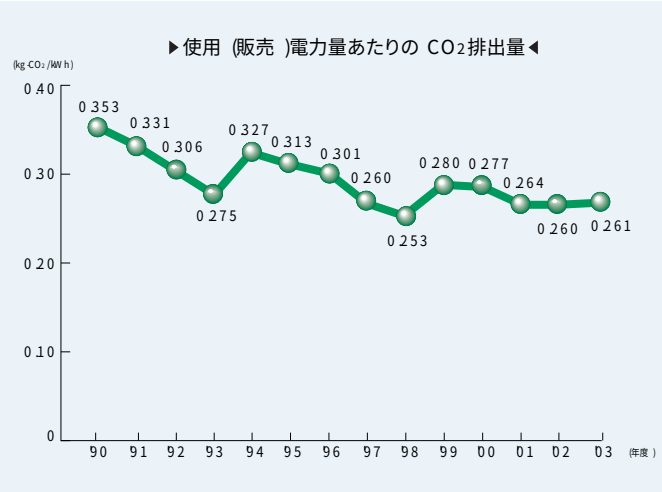
お客さまがお使いの関西電力の電気が、「エコリーフ環境ラベル」認証を電力業界で初めて取得しました。この環境ラベル付きの電気は、地球温暖化問題に対する関西電力の様々な取り組みの結果、1kWhあたりのCO₂排出量が0.261kgと、国内電力会社で最も低いレベルとなっています。

新エネルギーの普及・開発

関西電力は、風力や太陽光発電等の電力購入や「関西グリーン電力基金」への支援などを通じて、新エネルギーの普及促進を図っています。2003年4月に施行された「RPS法」（「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」）をうけ、これまで以上に積極的に新エネルギーの開発・普及に取り組んでまいります。

循環型社会への対応

関西電力は、中長期的に埋立処分される廃棄物の排出量ゼロ達成をめざし、3R活動（産業廃棄物等の発生抑制＜Reduce＞、再使用＜Reuse＞、リサイクル＜Recycle＞）に取り組んでおり、事業全般にわたる廃棄物の減量・再資源化を推進しています。この他、グループ事業においても、汚染された土壌の浄化事業や、ダムに漂着する流木のリサイクル事業などを行っています。

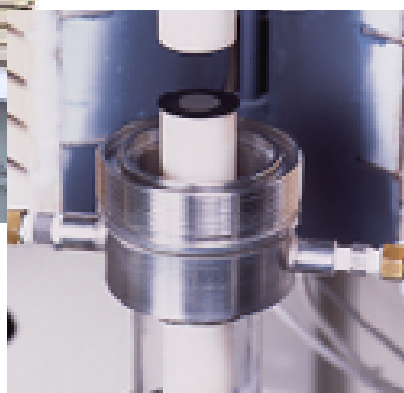


研究開発

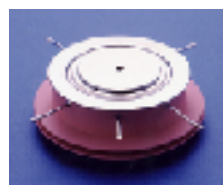
未来に向かって、つねに新しい可能性への挑戦を続けています。



SOFC材料基礎研究風景



電気事業で蓄積した高度な技術力と豊富なノウハウをベースに、多様な研究開発に取り組むことで、これからも快適で、より経済的な製品をご提供するための努力を日夜重ねてまいります。



SiCダイオードモジュール
試験作業と本体



電子顕微鏡による金属疲労検査



情報住宅プロジェクト



お客様の満足度を高める製品の開発に注力

より快適で、より経済的な製品を、お客さまにご提供するために、関西電力は、日夜、研究開発に力を注いでいます。たとえば、省エネ給湯機エコキュートに、床暖房や浴室乾燥まで組み込んだ多機能の総合給湯・暖房システムの開発に取り組んでいます。また、“暮らしe創造館”においては、快適な生活環境を創造するための家庭用電化システムの提案を目的とした評価研究を進めています。

また、住生活の基盤を支える高付加価値の情報住宅プラットフォーム（ミドルウェア）の研究開発を、総務省から受託しています。暮らしのニーズに応じてさまざまな情報家電機器を一括でコントロールし、各種のwebサービスとの連携も可能な近未来のライフスタイルを支えるシステムやサービスの研究開発に取り組んでいます。

次世代エネルギー供給の研究を推進

他の燃料電池に比べ発電効率が高く、安定性・環境性にも優れた固体酸化物形燃料電池（SOFC）は、画期的な発電技術として注目されており、関西電力は来るべき水素社会に向けて、低コスト・軽量・コンパクトな発電システムの実用化に取り組んでいます。

また、電力損失の大幅な低減を目指し、従来のシリコン素子（Si）に代わる次世代パワー素子（SiC）の研究を行っており、既にSiC素子を用いたインバータの開発に成功しています。このSiCインバータが実用化され、従来のSiインバータに置き換えれば、電力損失を半分以上に抑えられることから、産業界全体の省エネに大きく寄与するものと期待されています。

世界が認める地球環境保全のための研究成果

関西電力が地球環境保全への取り組みのひとつとして推進している、吸収液によるCO₂化学吸収法の研究成果は、日本をはじめアメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国で特許が認められ、既にマレーシア尿素製造プラントにも採用されています。一方で、自然界を再生し、CO₂の吸収源を拡大するために熱帯林の再生技術の研究にも取り組んでいます。

また、バイオテクノロジーを用いた土壌汚染対策技術の開発を目指し、環境汚染物質である重金属やダイオキシンなどを計測するバイオセンサーや、土壌浄化技術の研究に取り組んでいます。



海外事業

アジアから世界を視野に、活動の舞台は大きく広がっています。



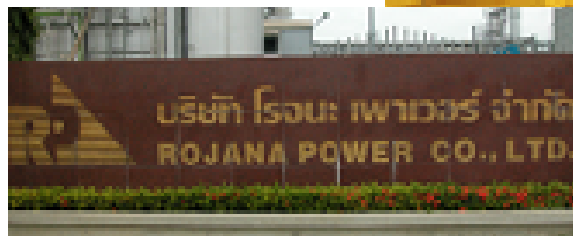
フィリピン / サンロケ・プロジェクト

フィリピンでの「サンロケ多目的プロジェクト」やタイ「ロジャナパワー」など、海外でも多方面にわたり積極的に事業を展開。国際社会が直面する重要課題を解決するために、技術協力による貢献も期待されています。

中国 / スイゾン発電所



タイ / ロジャナパワー



グローバルに展開する多彩なプロジェクト

関西電力は、1998年に、日本の電力会社として初めて海外の発電事業（フィリピンにおける水力発電事業）に参画しました。このプロジェクトは、25年間発電所を運転した後に設備をフィリピン国に譲渡するBOT (Build, Operate and Transfer)方式による海外卸発電事業で「サンロケ多目的プロジェクト」と呼ばれています。サンロケ・プロジェクトは2003年5月より営業運転を開始し、当社のO&M (Operating and Maintenance) 管理の下、順調に運転を続けています。このプロジェクト以外にも、関西電力は「東欧省エネルギー・排出抑制基金」への参画、またタイにおいては、天然ガス焚きコージェネレーションプラントを所有するロジャナパワー社の株式を取得し、経営に参画するなど、多方面にわたり積極的な海外展開を図っています。

海外コンサルティング事業の推進

関西電力は、これまで培った電力関連技術を活用し、アジア各国においてコンサルティング事業に取り組んでまいりました。その一例として、当社独自のRBM (リスクベースメンテナンス) 手法の導入を提案する内容で中国の政府系卸電力会社より出力160万kWの石炭火力発電設備保守点検の最適化に関するコンサルティング業務を受注し、業務を開始しております。今後ともこうしたコンサルティング事業を通じて、ビジネスチャンスの発掘に努めます。

地球規模の重要課題に対する積極的な取り組み

「地球温暖化問題」や「持続可能な発展」といった、国際社会が直面している重大な課題に取り組むためには、世界規模の協力が必要不可欠です。原子力発電・省エネルギー・環境保全などに関連する技術移転においては、民間セクターの中でも電力会社の果たせる役割が大きく、当社に対してもさらなる貢献への期待が高まっています。

このような背景から、当社は次の3つをはじめ、多くの国際プロジェクトに参加しています。

- 持続可能なエネルギー開発の促進をめざす国際組織への積極参加
- 温室効果ガスの排出削減に向けた発展途上国との共同活動の実施
- 途上国における電力と環境に関連する人材開発活動の実施

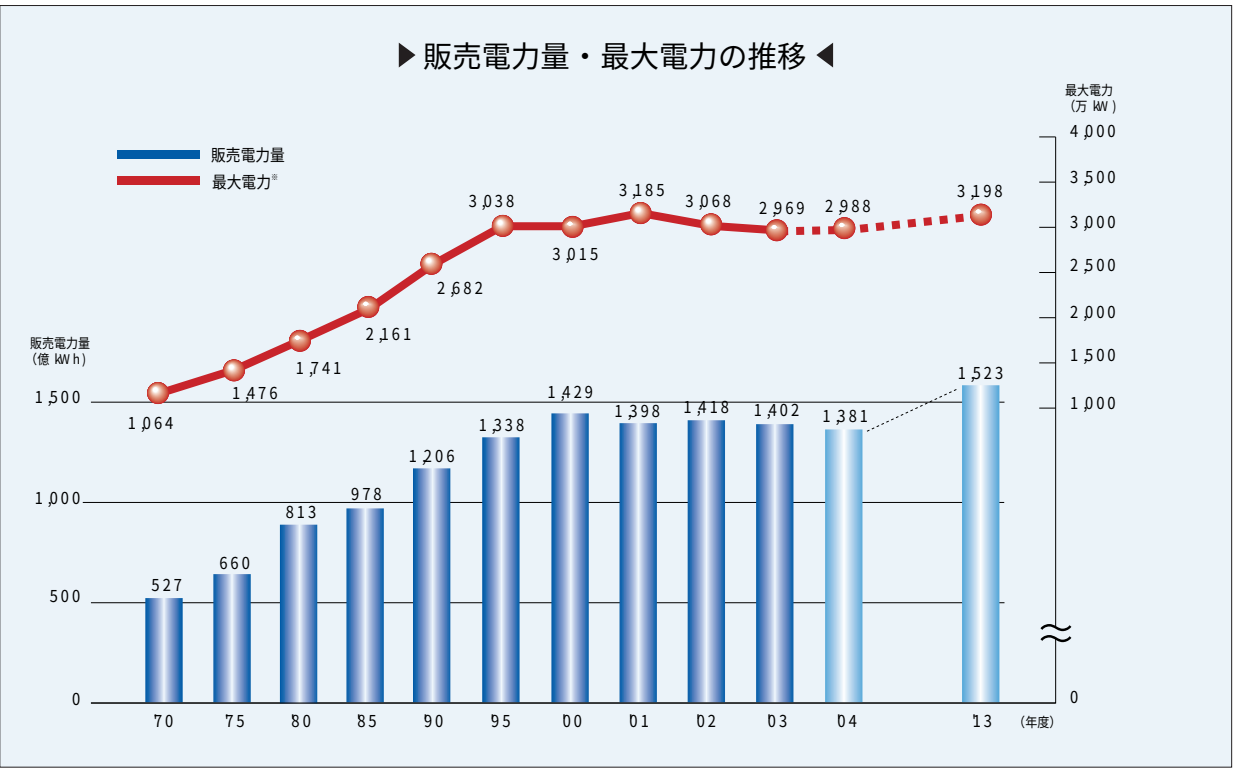
関西電力は、今後も自社の技術やノウハウを活用して、気候変動の緩和など地球規模の重要課題の解決にも貢献してまいります。



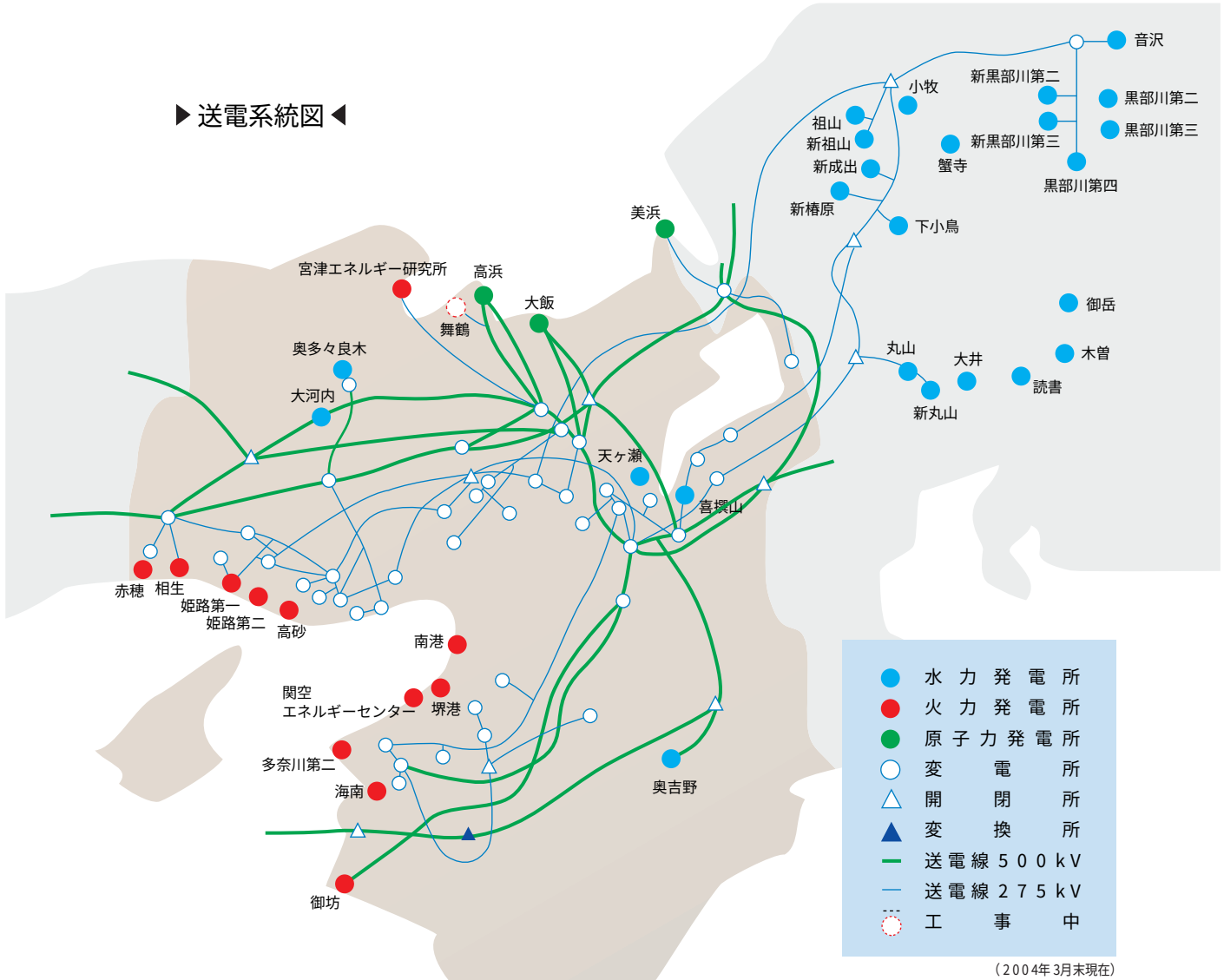
会社データ

概要 (2004年3月末現在)

設 立 年 月 日	1951年5月1日
資 本 金	4,893億円
発行済株式数	9億6,269万株
売 上 高	2兆3,752億円 (連結2兆5,401億円)
総 資 産 額	6兆5,408億円 (連結7兆1,508億円)
従 業 員 数	2万2,656人
販 売 電 力 量	電 灯 44,655百万 kWh 電 力 95,591百万 kWh 合 計 140,246百万 kWh
契 約 口 数	電 灯 1,169万口 電 力 136万口 合 計 1,305万口
発受電電力量	153,115百万 kWh
最 大 電 力	3,306万 kW (2001年8月2日)※発電端 1日最大
供 給 地 域	大阪府、京都府、兵庫県 (一部を除く)、奈良県、滋賀県、和歌山県ならびに三重県、岐阜県、および福井県の各一部 (面積=2万8,700km ²)



※最大3日平均電力 (送電端)



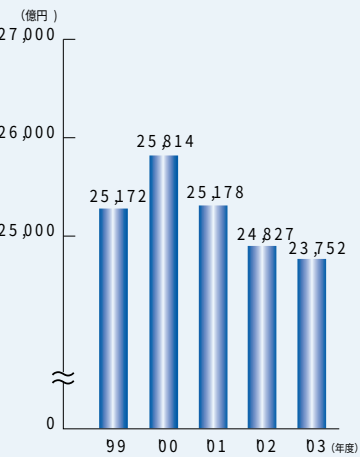
供給設備 (2004年3月末現在)

発 電 所	水力発電所	145ヵ所	815万 kW
	火力発電所	12ヵ所	1,691万 kW
	原子力発電所	3ヵ所	977万 kW
	合 計	160ヵ所	3,482万 kW
送 電 線 巨 長)	架 空	1万4,242 km	
	地 中	4,089 km	
配 電 線 巨 長)	架 空	12万148 km	
	地 中	5,547 km	
変 電 所	1,534ヵ所	1億4,925万 kVA	

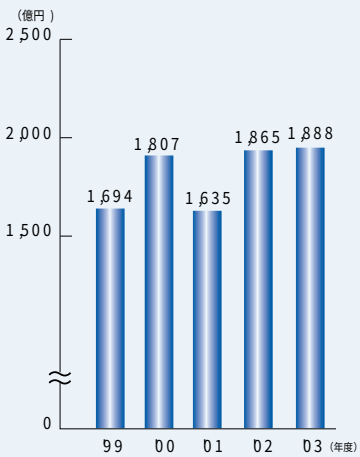


会社データ

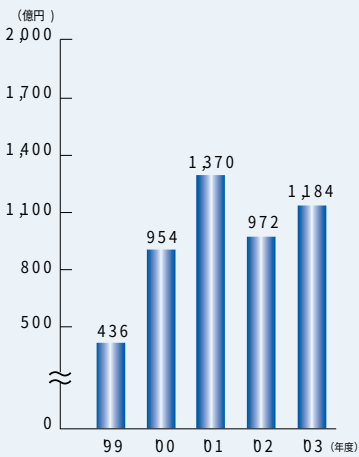
▶ 売上高 ◀



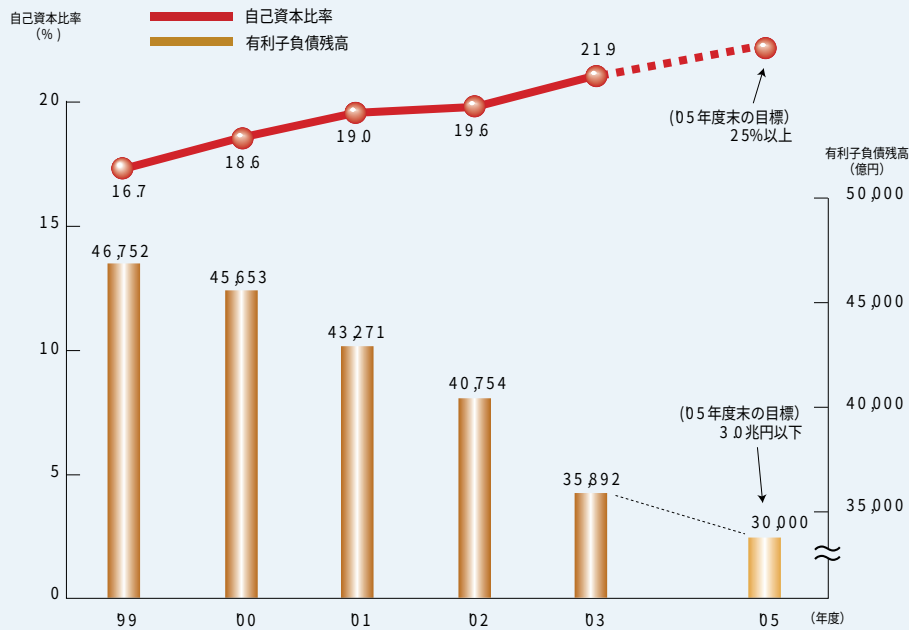
▶ 経常利益 ◀



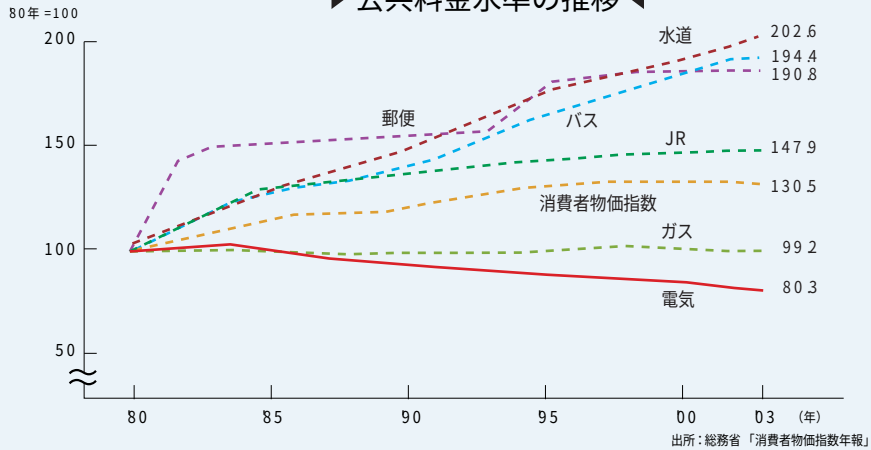
▶ 当期純利益 ◀



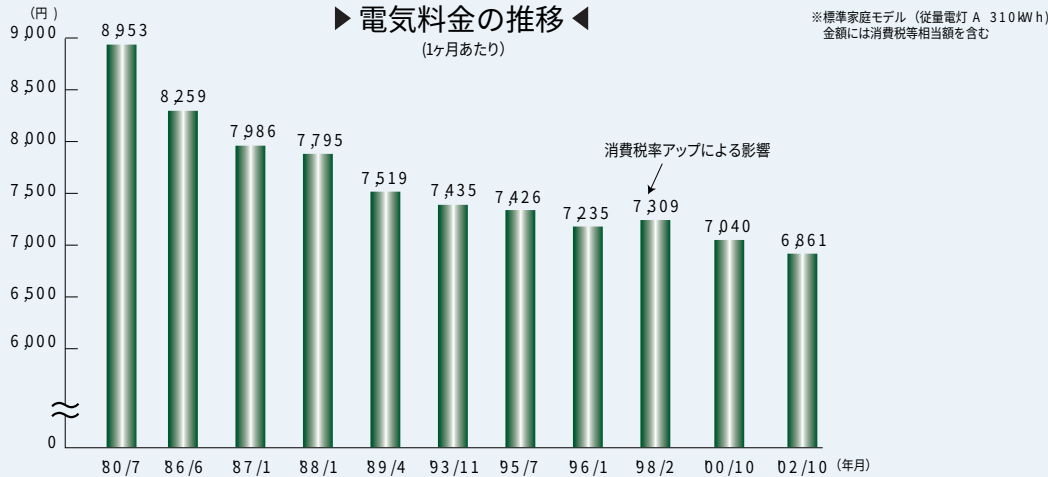
▶ 有利子負債残高と自己資本比率の推移 ◀



▶ 公共料金水準の推移 ◀



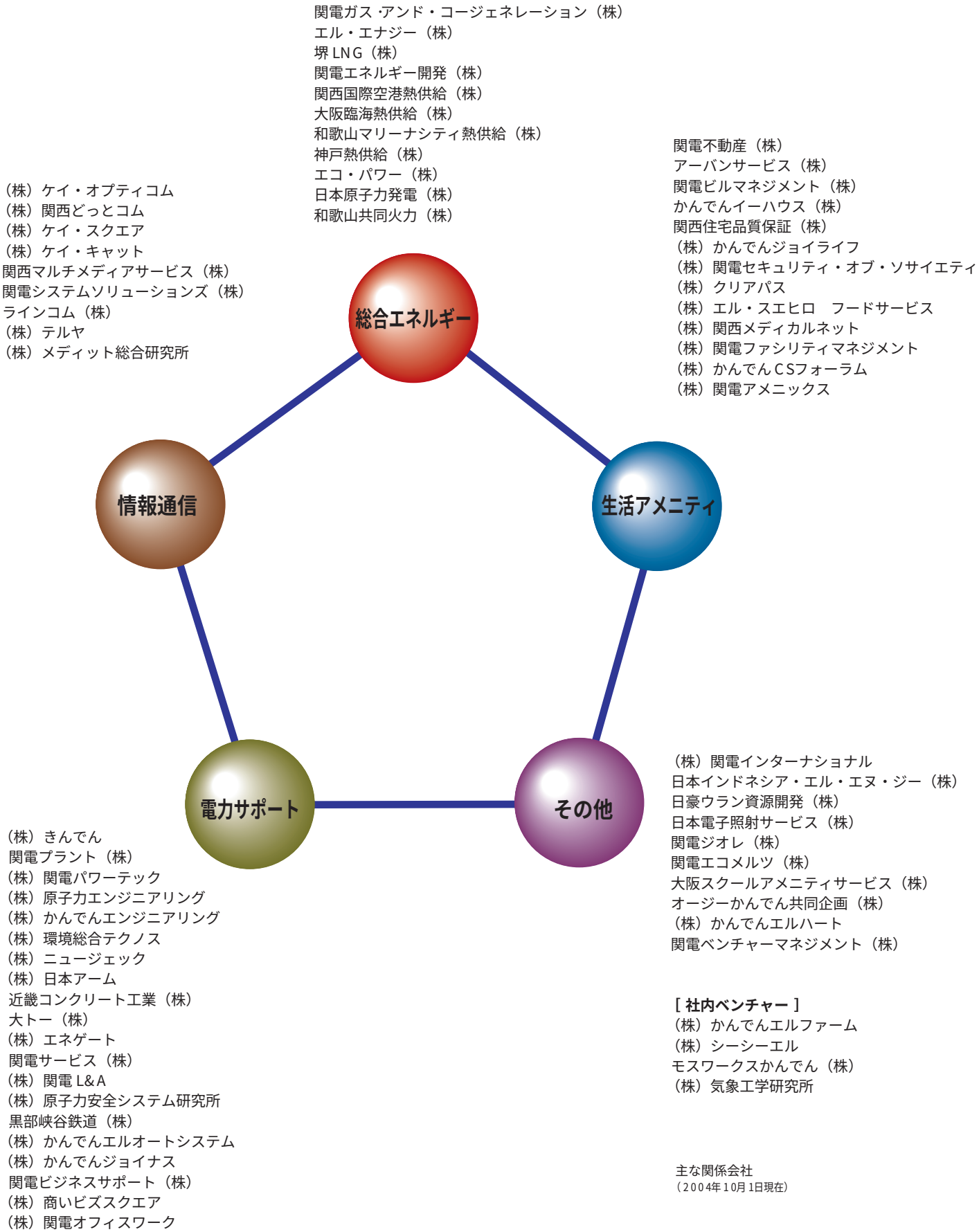
▶ 電気料金の推移 ◀



▶ 電源開発計画 ◀

04年3月末						
	種別	発電所名	出力 (万kW)	運転開始	出力計 (万kW)	所在地
工事中	火力	舞鶴 (石炭)	90.0x2	04/8 (#1) 10/8 (#2)	180	京都
		和歌山 (LNG)	1号系列 164.4 (82.2x2) 2号系列 205.6 (82.2x2) (41.1x1)	14年度以降	810	和歌山
着工準備中	火力	御坊第二 (新種燃料)	110.0x4	14年度以降		和歌山

グループ会社



歴史

関西電力の歩み

関西電力の出来事	年	社会情勢
電気事業再編に伴い、関西電力発足	1951	講和条約調印
原子力研究開発のため、「原子力部」発足	1957	
世界初の気球工法による鳴門海峡横断送電線工事成功	1961	
7年に亘る難工事の末、黒四発電所竣工	1963	
夏季最大電力が初めて冬季最大電力を上回る	1966	
当社初の原子力発電所である美浜発電所1号機運転開始	1970	大阪で万国博覧会が開催
	1973	第一次石油ショック
50万ボルト基幹系統完成	1976	
姫路LNG基地竣工	1979	第二次石油ショック スリーマイル島原子力発電所で事故発生
電力業界で初めてTQCを導入	1981	
製造業・建築業以外で初めてデミング賞を受賞	1984	
	1986	チェルノブイリ原子力発電所で事故発生
年度の販売電力量が1,000億kW hを超える	1987	
	1990	大阪で国際花と緑の博覧会が開催
美浜2号機蒸気発生器細管破断事故発生	1991	湾岸戦争勃発
美浜2号機事故を教訓として原子力安全システム研究所を設立	1992	ブラジルで地球サミット開催
31年ぶりに電気事業法が改正され、卸電気事業などの規制が緩和	1995	阪神・淡路大震災発生
電気料金の値下げ。初めて電気卸入札を実施	1996	
	1997	京都でCOP3開催
電気料金の値下げ	1998	
電気事業法が改正され、電力の小売部分自由化がスタート。 届出による初めての電気料金の値下げ	2000	
5年ぶりに最大電力更新（3,306万kW）	2001	米国同時多発テロ
電気料金の値下げ	2002	米アフガニスタン攻撃 東電、自主点検不正問題
当社電力が「エコリーフ環境ラベル」認証取得	2003	米イラク攻撃
美浜3号機2次系配管破損事故発生	2004	

本店：〒530-8270 大阪市北区中之島3丁目6番16号

TEL:06-6441-8821

ホームページ <http://www.kepco.co.jp>